

2010年
11月12日 金

13:00～17:15

千代田放送
会館ホール

統合された地球温暖化観測を目指して

森林における観測の最前線

主催：地球温暖化観測推進事務局 / 環境省・気象庁
後援：内閣府、文部科学省（予定）、農林水産省、
（独）森林総合研究所、
（独）国立環境研究所 地球環境研究センター

入場無料

要事前登録

地球温暖化は、人類が直面する地球規模の重大な問題の一つです。温暖化による影響を把握し、適切な緩和策を推進するためには、長期にわたる地球観測データの蓄積が不可欠です。

ワークショップでは、最近特に注目を集めている「森林」を対象に、COP10を踏まえた生態系・生物多様性、炭素循環、温暖化影響、さらに「途上国における森林減少・劣化による温室効果ガス排出の削減(REDD+(レッド・プラス))」について、観測の視点からご紹介します。

プログラム

- | | |
|---------------|---|
| 13:00 ~ 13:10 | 開会挨拶 （環境省）（司会 藤谷 徳之助 地球温暖化観測推進事務局） |
| | 基調講演 |
| 13:10 ~ 13:55 | 「長い目で見ると、広い目で見ると：森林生態系モニタリングから分かること」・・・日浦 勉(北海道大学) |
| | 講演 |
| 13:55 ~ 14:25 | 「高CO ₂ 環境に対する森林樹木の応答」・・・小池 孝良(北海道大学) |
| 14:25 ~ 14:55 | 「森林の樹木多様性と生態系機能」・・・黒川 紘子(東北大学) |
| 14:55 ~ 15:10 | (休憩) |
| 15:10 ~ 15:40 | 「森林炭素モニタリングに向けた陸域生態系観測ネットワークの役割」・・・三枝 信子(国立環境研究所) |
| 15:40 ~ 16:10 | 「リモートセンシングと生態系モデルによる森林炭素マッピング：REDD+のモニタリングは可能か」
・・・山形 与志樹(国立環境研究所) |
| 16:10 ~ 17:10 | 総合討論
「森林における観測研究の今後の展望」 |

日時

平成22年11月12日(金) 13:00～17:15 (受付開始12:15～)

場所・アクセス

千代田放送会館ホール

東京都千代田区紀尾井町1-1 Tel: 03-3238-7401

- ・地下鉄赤坂見附駅(銀座・丸ノ内線)出口Dから徒歩約9分
- ・地下鉄永田町駅(南北・有楽町・半蔵門線)出口9a 9b 5から徒歩約2～8分
- ・地下鉄麹町駅(有楽町線)出口1から徒歩約5分

参加申込

事前登録制です。ホームページよりお申し込み下さい。

<http://occo.nies.go.jp/101112ws/index.html>

定員200名 定員になり次第登録を締め切ります。



お問合せ先

地球温暖化観測推進事務局 / 環境省・気象庁 (OCCCO)

<http://occo.nies.go.jp/> TEL: 029-850-2980

FAX: 029-858-2645

e-mail: occo-ws10@nies.go.jp